

県政と皆様を結ぶ情報誌



県政報告

vol.5

2020.4月発行



愛知県議会議員

神谷まさひろ

「日記形式での県政報告Vol.5」をお届けします。今回は愛知県議会2月定例会の内容が中心です。私の所属します福祉医療委員会や本会議において、新型コロナウイルス感染の問題が多数取り上げられましたが、この件については状況が日々変化しておりますので、ぜひそれらは愛知県のホームページなどで最新の情報を入手して頂ければと存じます。

昨年の7月からミササガパークでのラジオ体操にほぼ毎日参加しています。冬の間、暗い中で行っていた体操も、今では太陽の光をたっぷり浴びて毎日約50名ほどの参加で行っています。今、世界中が新型コロナウイルスとそれに起因した景気悪化で厳しい状況になっていますが、「明けない夜はない」その言葉を信じています。

今回の[県政報告Vol.5]では新型コロナウイルス以外の内容を含めお伝えします。ぜひご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



2.19

『愛知新起動』

されど厳しい財政状況

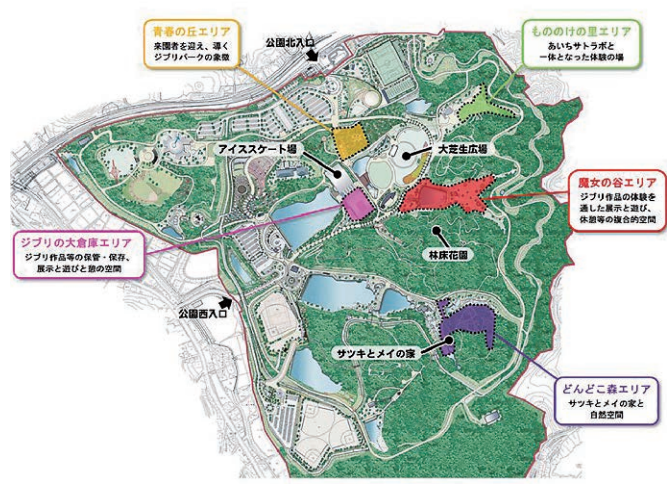
今 日から3月25日まで36日間の会期で2月定例愛知県議会が始まりました。

いつものように全員起立をして開会式が行われた後、本会議に入りました。諸般の報告・会期の決定の後、全ての議案を一括議題として大村知事から提案理由の説明がありました。2020年度当初予算は一般会計2兆5722億余円、特別会計と企業会計を合わせると4兆1822億余円となり、一般会計の予算規模は2019年度の当初予算に対して2.4%の増額で過去最大となっています。

主な事業としてはジブリパークや、新市場を開拓するスタートアップ企業の支援拠点の整備など、愛知の更なる飛躍につなげるための『愛知新起動』の年と位置付けた大型投資予算となっています。

しかし単年度の歳入だけで歳出を賄うことができず、多額の基金取崩しに依存する厳しい財政状況となってい

るのです。従って今後も、経済・産業の活性化を進めることにより税源の涵養につなげると共に、より一層の合理的な行政運営が求められています。



2.25

刈谷市内の県立高校

快適な学校になるよう整備をします

議

案説明3日目。今日は午前中に建設委員会、午後からは教育・スポーツ委員会について行われました。

刈谷市内の県立高校に関することで4点紹介します…

①刈谷東高校に空調設備が設置されます

県立高校普通教室の空調機器の多くはこれまでPTAによる設置がされてきましたが、刈谷東高校には設置がされていませんでした。そこでこの度、リース方式による整備が県の当初予算で計上されています。当選間もない昨年の夏、ご家族の方からの要望を当局と大村知事にお伝えしていただけに早期の実現に安心しました。

②トイレの改善(床の乾式化・便器の洋式化など)を行います

2020年度工事＝刈谷北高校・刈谷東高校

2020年度設計＝刈谷工業高校

「床の乾式化」が優先課題ですから、既に乾式化が図られているトイレについては「和式→洋式」への変更は行いません。

③刈谷北高校のグラウンドと豊田自動織機のグラウンドを交換します

2022年度に交換→23年4月供用開始

北側の道路(織機前から西に延びる道路)にある緑地帯(樹木・植栽)については緑化保全の観点から残す可能性があります。現在、県と織機とでグラウンド内整備の調整をしています(芝生やトラックのアンツーカーはどうするか。地元

ではグラウンド内にある25ヶのマンホールトイレは全て残して欲しい旨の要望をしています)



④刈谷高校の体育館を改修します

昭和33年に建築され既に60年以上経過しています。主な改修内容としては、屋根の防水・外壁改修・内装改修(スロープ新設・床改修・ラインやり替え・バスケットゴール改修・防球ネット取替)・壁や天井の塗装です。予算は約2億5千万円で、今年の夏頃から来年の2月頃までの工期で、卒業式や入学式には間に合うようにします。



2.28

会派団長による代表質問

自

民党・新政あいち・公明党の3会派、それぞれ団長により県政の諸課題について代表質問が行われました。答弁するのは、知事・県警本部長・教育長の3名です。3名の質問に対する答弁の中からそれぞれ1項目をご紹介します。

杉浦孝成議員(自民)

A・Bグループで2回受験する現在の公立高校入試を改革して2023年春の入試から新制度で実施する。そのために2020年度の早い時期に有識者らによる検討会議を立ち上げ、12月をめどに新制度の案を公表する。

安藤敏毅議員(新政あいち)

文部科学省が昨年末に公表した調査結果によると、愛知県内の教育用コンピューター整備状況は1台あたり7.5人で全国最低でした。そこで2020年度中に高速大容量の通信ネットワークを県立高校と特別支援学校

全てに整備する。また、県立高校10校をモデル校として、1校あたり40台のタブレット端末を配備する。そして特別支援学校では国の補助対象となる小学5年から中学1年までの全児童生徒分として892台を導入する。

木藤敏郎議員(公明)

アクセルとブレーキの踏み間違えによる急発進を防ぐため、安全運転支援装置を車に後付けする際の購入補助制度を創設します。国が5割を補助してくれますから、それに上乗せして県と市町村が4割を補助します。従って本人の負担は1割だけとなります。対象は65歳以上です。既に刈谷市は昨年の12月から対象を70歳以上としてこの制度を実施していますが、今後は65歳以上からに拡充されると思います。

3.9 月 本会議場での議案質疑 2項目について発言

2 月定例愛知県議会は3月6日(金)と9日(月)の2日間、本会議場において議案に対する質疑が行われました。この[議案質疑]は、1回30分以内(質問20分・答弁10分)で本会議場の自席から行います。今回は2日間で延べ65名の議員が発言をし、私も次の2項目について質疑をしました。

◎スタートアップ・エコシステムについて

スタートアップとは最先端の人工知能(AI)や情報通信技術(ICT)を活用して、斬新なアイデアで新市場開拓を目指す創業間もない企業を支援をし、そうした企業の新たなアイデアとモノづくりの優れた技術との融合によるイノベーションを誘発し、愛知県産業の成長を拡大させる取り組みです。具体的には次のような事業があります…

- ① 中核支援拠点となる施設[ステーションAi]を鶴舞の勤労会館跡地に建設(開設予定2022年11月)
- ② ステーションAiが整備されるまでの間、切れ目のない総合的なスタートアップ支援のため笹島にあるグローバルゲート名古屋内に今年の1月より早期支援拠点を開設

- ③ 大学院生などを対象としたビジネスプランコンテストを新たに開催
 - ④ 首都圏のスタートアップ企業と県内企業とのマッチング支援
 - ⑤ 起業に必要な経費を補助(上限200万円、補助率1/2)
 - ⑥ 県内サテライト支援拠点とのネットワーク形成
 - ⑦ 海外のスタートアップ支援機関や大学との連携
- この内、今回の質疑では⑥⑦について当局の考えを質しました。

◎小中学校における部活動指導員の配置について

部活動に対する教師の負担軽減のために[部活動指導員]という制度が平成30年度からスタートしました。

この[部活動指導員]さんは顧問の教員の立ち合い等を必要とせず、単独で生徒への実技指導や大会等への引率が可能で、市町村が配置する場合にはその費用を国が3分の1、県が3分の1負担してくれるのです。愛知県内では2018年度は7市で33人、2019年度は12市で121人、2020年度は14市で182人と配置が拡充しています。

私はこの制度によって「教師の負担軽減」だけに止まるのではなく「部活動の充実」にも繋がることが理想だと思っています。

9 スタートアップ企業の支援 ②

○総合的なスタートアップ支援の中核支援拠点となる「ステーションAi(アイ)」を整備するとともに、県内各地域にサテライト支援拠点を整備し、スタートアップ・エコシステムの形成に向けた世界に直結する推進ネットワークを創設

中核支援拠点「ステーションAi」

施設イメージ

優秀なスタートアップを創出・育成し、海外展開を促すとともに、世界から優秀な人材を築め、新たな付加価値の創出を図る拠点

場所：愛知県勤労会館跡地(名古屋市中区鶴舞)

主な機能(想定)

- コワーキングスペース、イベント・交流スペース
- テックラボ(実験、試作品作製等)
- 宿泊施設、カフェレストラン

2021年度中オープン

早期支援拠点

ステーションAiが整備されるまでの間、切れ目のない総合的な支援を実施

場所：名古屋市内の民間施設を活用

2020年1月オープン

県内サテライト支援拠点との強固なネットワーク形成

中核支援拠点

サテライト支援拠点

県内各地域に様々なテーマ分野に特化したサテライト支援拠点を整備



3.13 金 福祉医療委員会=新型コロナウイルス感染症対策を中心に議論

私 が所属する福祉医療委員会が開催されました。通常の議案審査などのほか、特別に「新型コロナウイルス感染症対策に係る県の対応」についての説明がありました。

また、一般質問についてもコロナウイルスに対する質問が多くあり、内容としては「マスクの供給について」「市町村との連携について」「相談対応について」「入院体制(病床数)について」「PCR検査について」などについて活発な議論がなされました。

尚、「入院体制(病床数)について」4月10日現在のデータで追記しますと…

愛知県内に感染症指定医療機関は12か所、計72床あり、多数の患者が発生した場合は入院協力医療機関(愛知県内に33か所、計89床)をお願いし、更にその他の医療機関で受入れに協力して下さる病院を含めると約250床の入院が可能となっています。また、症状がなかったり軽かったりする感染者が一時的に生活できる施設で200室を確保しています。

3.25 水 ▶ 新型コロナウイルス感染症対策関連の補正予算

2 月定例愛知県議会も今日が最終日です。冒頭、新型コロナウイルス感染症対策関連の補正予算が2件追加上程され知事より説明がありました。その結果、今議会で可決した新型コロナウイルス感染症対策関連の補正予算は次の3事業です。

① 中小企業の方を対象とした「新型コロナウイルス感染症対策緊急つなぎ資金」の制度を創設するものです。これは、前年同月または2年前同月と比べて売り上げ等が減少している方が対象で運転資金、融資限度額5000万円です。利率は年1.2%、信用保証料を全額愛知県が補助し、融資枠としては2000億円設けています。

② 新型コロナウイルスの感染拡大のために実施された学校の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が増加した児童について、保護者と市町村の負担分を助成するものです。予算額は2億180万円です。

③ 新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により、収入が減少した世帯に対して、生活福祉資金貸付制度に特例を設けて、資金貸付による生活費用の支援を行うものです。補正予算額は18億300万円で、受付窓口は各市町村の社会福祉協議会です。



4.10 金 ▶ 困った時は緊急小口資金等の特例貸付＝社会福祉協議会へ

愛 知県独自の「緊急事態宣言」が発出されました。様々な自粛により経済活動が停滞し、くらしが本当に厳しくなっている方が多数おられるのではないかと心配しています。そこで3月25日の日記で書いた**③**について、もう少し判り易い表現で紹介します…

コロナの影響で収入が減って本当に困ったら、「刈谷市社会福祉協議会」に相談しましょう。高齢者施設ひまわりの中にあります。社協は本当に困っている人の味方です。ここが窓口になって、国の「緊急小口資金等の特例貸付」の受け付をしています。

- ◇コロナで収入が減って生活の苦しい人 バイト・社員・個人事業主全部OKです。
- ◇会社が休業した人だけでなく手取りが減った人もOKです。

- ◇とりあえずは当面の生活費10万お貸しします。保証人不要・利息なしです。
- ◇個人事業主には倍の20万お貸しします。小学校が休校で仕事を休まなければいけない親御さんにもお貸しします。
- ◇10万や20万借りても、それでもやっぱり苦しかったら、あるいは万が一失業とかしたら「総合支援資金」があります。こちらは月20万×3か月までお貸しします。こちらは無利息・無保証人。つまり全部合わせたら最大80万です。

この制度は当面の生活を建て直して貰うための制度です。どんなに長い夜でも夜明けが必ず来ます。この苦難を乗り越えて、来年の今頃には皆で笑ってお花見に行きましょう。

